

【公開日】 2026年6月25日

作成日 2025年3月10日
(最終更新日 2026年5月15日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号： 2026-4-039

課題名：抗 HLA 抗体が妊娠成立に与える影響を明らかにすることを目的とした同胞間 HLA の調査

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画の地域住民コホート調査および三世代コホート調査に、家族（父、母、子および1人以上の同胞）で参加された方

2. 研究期間

2025年4月（研究実施許可日）～2027年12月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

本学で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：研究実施許可日

提供開始予定日：該当なし

4. 研究目的

本研究では、親子や兄弟姉妹の HLA（ヒト白血球抗原）について調べることで、父親から受け継いだ HLA が兄弟姉妹間でどのように一致・不一致するか、何らかの特徴があるのかを分析することを目的としています。HLA は、私たちの体が「自己」と「非自己」を区別するための重要な要素です。妊娠中、母親の体は本来「非自己」である胎児を「非自己」と認識しないように、免疫の働きを調整する仕組み（免疫寛容）を持っています。しかし、妊娠によって胎児の HLA に対する抗体（抗 HLA 抗体）が母体内で作られることがあり、これが次の妊娠に影響を及ぼす可能性があります。このことを明らかにすることにより、不妊治療や移植医療などの分野にも貢献できる可能性があります。特に、二人目不妊に悩む方々にとって、新しい治療法の開発につながることを期待されます。

5. 研究方法

兄弟姉妹の HLA（ヒト白血球抗原）を調べ、父親から受け継ぐ HLA のパターンに偏りがあるかどうかを分析します。HLA は両親から1セットずつ受け継ぐため、父親からも2種類の HLA のうちどちらかを受け取ります。兄弟姉妹の HLA を調べ、それぞれが父親のどの HLA を受け継いでいるかを比較します。もし兄弟姉妹が3人以上いる場合は、それぞれの HLA を詳細に比較し、父親からの HLA の受け継ぎ方に偏りがあるかを分析します。また、妊娠に伴い母体内に産生される ABO 血液型の抗体についても妊娠経過や免疫応答に影響を及ぼす可能性があるため、合わせて ABO 血液型についても検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：HLA や血液型に関連するゲノム情報、コホート調査の調査票情報、家系情報、血液検査情報

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は、医局の運営費交付金等を使用し、企業から供与される資金は用いません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

本研究に関する照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院総合外科・臓器移植医療部 戸子台 和哲

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7214

kazuaki.tokodai.e5@tohoku.ac.jp

本研究の研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構ゲノム解析部門 濱中 洋平

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「10. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第33条の2>

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合

以下、過去に掲載を行っていた文書

【公開日】 2025年4月28日

作成日 2025年3月10日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号： 2025-4-010

課題名： 抗 HLA 抗体が妊娠成立に与える影響を明らかにすることを目的とした同胞間 HLA の調査

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画の三世代コホート調査に、家族（父、母、子および1人以上の同胞）で参加された方

2. 研究期間

2025年4月（研究実施許可日）～2027年12月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

本学で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：研究実施許可日

提供開始予定日：該当なし

4. 研究目的

本研究では、親子や兄弟姉妹の HLA（ヒト白血球抗原）について調べることで、父親から受け継いだ HLA が兄弟姉妹間でどのように一致・不一致するか、何らかの特徴があるのかを分析することを目的としています。HLA は、私たちの体が「自己」と「非自己」を区別するための重要な要素です。妊娠中、母親の体は本来「非自己」である胎児を「非自己」と認識しないように、免疫の働きを調整する仕組み（免疫寛容）を持っています。しかし、妊娠によって胎児の HLA に対する抗体（抗 HLA 抗体）が母体内で作られることがあり、これが次の妊娠に影響を及ぼす可能性があります。このことを明らかにすることにより、不妊治療や移植医療などの分野にも貢献できる可能性があります。特に、二人目不妊に悩む方々にとって、新しい治療法の開発につながることを期待されます。

5. 研究方法

兄弟姉妹の HLA（ヒト白血球抗原）を調べ、父親から受け継ぐ HLA のパターンに偏りがあるかどうかを分析します。HLA は両親から1セットずつ受け継ぐため、父親からも2種類の HLA のうちどちらかを受け取ります。兄弟姉妹の HLA を調べ、それぞれが父親のどの HLA を受け継いでいるかを比較します。もし兄弟姉妹が3人以上いる場合は、それぞれの HLA を詳細に比較し、父親からの HLA の受け継ぎ方に偏りがあるかを分析します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：HLAに関連する遺伝子、コホート調査の調査票情報

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は、運営費交付金等を使用し、企業から供与される資金は用いません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

本研究に関する照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院総合外科・臓器移植医療部 戸子台 和哲

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7214

kazuaki.tokodai.e5@tohoku.ac.jp

本研究の研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構ゲノム解析部門 濱中 洋平

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「10. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第33条の2>

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合